

—東地中海・北アフリカ地域ニュース—

リビア：憲法起草委員会選挙の候補者数、有権者登録状況の発表

ヌーリ・アッバール最高選挙委員会委員長は、2014年2月中旬予定の憲法起草委員会選挙の候補者審査を終了したと発表した。同時に、有権者登録手続きの状況も発表した。なお、選挙の実施日は、今後、国民議会によって最終的に決定される。

1. 憲法起草委員会選挙の候補者数

- ・60名から成る憲法起草委員会選挙を2014年2月に実施予定。西部のトリポリタニア、東部のキレナイカ、南部のフェッザーンから各20名ずつ、自由選挙によって選出する。
- ・憲法起草委員会選挙への候補者届出は、2013年10月6日から11月11日まで行われた。
- ・候補者資格として、選挙実施日の時点で25歳に達している／選挙関連機関に所属していない／国民議会・暫定政府に所属していない／政治的罷免法の対象ではない（※同法は、カッザーフィー体制下で要職に就いていた者の政治活動を禁止するもの）、などがある。
- ・1月1日、アッバール最高選挙委員会委員長が発表したところによると、649人が候補者の届出を行い、候補者審査の結果、575人（うち女性54人、タブー族出身者14人、トゥアレグ族出身者6人）が候補者として認められた。ただし、アマジグ族は選挙ボイコットを表明したため同族出身者からの候補者届出はなかった。

2. 有権者登録手続きの状況

- ・2013年12月末をもって終了した有権者登録手続きは、リビア国外での登録数を含め、100万1,910人となった。ただしアッバール委員長は、有権者登録の追加手続き期間を1月16日まで設けることを発表し、有権者登録を済ませていない場合は速やかに完了させるよう呼びかけた。
- ・2012年の国民議会選挙における有権者登録数は約280万人であり、今次選挙の登録者数は2012年選挙当時の3分の1程度でしかない。

(金谷研究員)